

合格通信

今
月
の
名
言

役職とは権力ではない。責任の所在を示している。大任重責と知るべきである。

-安藤 百福-
(日清創業者)

新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願いいたします。

これは、塾生のみなさんと、特進スクールを訪れてくれた、小中高校生の皆さんとお問い合わせいただいたお父さん、お母さんに向けて、勉強法や受験に役立つ話題をお届けする情報誌です。

名曲喫茶 高田馬場篇

早稲田大学の町、高田馬場には名曲喫茶が「あらえびす」「らんぶる」「フォーレ」の3店がありました。まず駅を降りて早稲田大学方面へ3分ほど行ったところに「タイム」という中古レコード屋があり、廃盤LPなどを必死になってエサ箱といわれる棚をつぎつぎと漁っていました。ここで捕獲したLPやこの街は都内有数の古本屋街だったので捕獲した古本などを名曲喫茶でしげしげとめどるのが一つの楽しみでした。名曲喫茶「あらえびす」は「タイム」の少し先のビルの2階にあり、レンガと黒塗りの丸太で仕切られた店内で照明はランプで一目山小屋風の造りで結構気に入っていたのですが、いつ行っても客が0~3人ほどしかおらず、すでに激ヤバ状態だったのですが、1988年に閉店してしまいました。(YOU TUBEで往時の映像を見ることができます)ところが去年の5月の連休に岩手県の「野村胡堂・あらえびす記念館」に行ったとき、偶然にもここの看板を発見しました。閉店する際に所蔵のLPやオーディオなどこの記念館に寄贈していたそうです。



「あらえびす」の少し先に「らんぶる」がありました。たまたま通りがかって知ったのですが、入ってみるとまず喫茶室に入る前に細い通路があり、端には使われなくなった椅子やテーブルが積み上げられ「やっているのか？」とたじろいでいると奥のほうから店主に「こっちこっち、こっちあったかいよ」とストーブのある奥のほうに手招きされました。奥に入るとすでに早稲田の学生らしき男子二人組がいて、どうやらこの話好きの店主に捕まっているようでした。気がつくとも名曲がかかっておらず、ラジオが放送されていました。それも日本シリーズ、1988年の「西武対中日」でした。「バッテリーは谷沢」というアナウンスのあとに店主が「谷沢だよ、早稲田出身の」と合いの手をいれてました。・・・「コーヒー飲んで速く逃げよう」と15分で退散しました。

「フォーレ」はもう少し早稲田大学に近いところにありましたが、1度行ったきりで2度目に訪ねたときには閉店しており、中をのぞくともぬけのからで、店の前には枯葉がむなしく舞っておりました。